(2)　夜勤職員配置加算(Ⅰ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(略)

(二)　入所定員が五十一人以上（平成三十年三月三十一日までに指定を受けた指定介護老人福祉施設にあっては、三十人又は五十一人以上）であること。

(三)　(略)

(3)　夜勤職員配置加算(Ⅱ)イを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　ユニット型介護福祉施設サービス費を算定していること。

(二)　入所定員が三十人以上五十人以下（平成三十年三月三十一日までに指定を受けた指定介護老人福祉施設にあっては、三十一人以上五十人以下）であること。

(三)　夜勤を行う介護職員又は看護職員の数が、第一号ロ(2)に規定する夜勤を行う介護職員又は看護職員の数に一を加えた数以上であること。ただし、次に掲げる要件のいずれにも適合している場合は、第一号ロ(2)に規定する夜勤を行う介護職員又は看護職員の数に十分の九を加えた数以上であること。

a　入所者の動向を検知できる見守り機器を、当該指定介護老人福祉施設の入所者の数の百分の十五以上の数設置していること。

b　見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会を設置し、必要な検討等が行われていること。

(4)　夜勤職員配置加算(Ⅱ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(略)

(二)　入所定員が五十一人以上（平成三十年三月三十一日までに指定を受けた指定介護老人福祉施設にあっては、三十人又は五十一人以上）であること。

(三)　(略)

(5)　夜勤職員配置加算(Ⅲ)イを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(1)(一)から(三)までに該当するものであること。

(二)　第一号ハ(3)(二)及び(三)に該当するものであること。

(6)　夜勤職員配置加算(Ⅲ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(2)(一)から(三)までに該当するものであること。

(二)　第一号ハ(3)(二)及び(三)に該当するものであること。

(7)　夜勤職員配置加算(Ⅳ)イを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(3)(一)から(三)までに該当するものであること。

(二)　第一号ハ(3)(二)及び(三)に該当するものであること。

(8)　夜勤職員配置加算(Ⅳ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(4)(一)から(三)までに該当するものであること。

(二)　第一号ハ(3)(二)及び(三)に該当するものであること。

(2)　夜勤職員配置加算(Ⅰ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(略)

(二)　入所定員が三十人又は五十一人以上であること。

(三)　(略)

(3)　夜勤職員配置加算(Ⅱ)イを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　ユニット型介護福祉施設サービス費又はユニット型旧措置入所者介護福祉施設サービス費を算定していること。

(二)　入所定員が三十一人以上五十人以下であること。

(三)　夜勤を行う介護職員又は看護職員の数が、第一号ロ(2)に規定する夜勤を行う介護職員又は看護職員の数に一を加えた数以上であること。

(4)　夜勤職員配置加算(Ⅲ)ロを算定すべき指定介護福祉施設サービスの夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準

(一)　(略)

(二)　入所定員が三十人又は五十一人以上であること。

(三)　(略)

(新設)

(新設)

(新設)